

# 生徒指導経営

## 1 経営の目標

お互いに高め合い、やる気をもって主体的に行動できる生徒の育成

## 2 経営方針

- (1) 生徒一人一人の自己指導力（正しく考え、判断し、行動する）の育成を図る。
- (2) 他とのかかわりや社会に出てすぐに役立つ基本的生活習慣を確立させる。
- (3) 「自主・希望・友愛」を常に見つめ、考え、行動できる生徒の育成を図る。

## 3 経営の重点と具体的施策

### (1) 指導の基本姿勢

400人近い生徒。しかも「心の揺れ」のある中学生。必ず出すサインを見逃さず、**厳しく・あたたかく・じっくり**指導し、本人の今後を一緒に考える。そのためには教師―生徒の「信頼関係」があるかどうかポイントであり、**信頼関係があつて様々な指導**がある。まずは、信頼関係づくりが基盤で、そのためには、「**生徒と共に**」動くこと、「**生徒のそば**」にいてやる必要がある。

また、保護者とも協力できる体制を作らなければ、指導は半減する。**保護者や地域を巻き込んだ生徒指導を推進する。**

### (2) 経営の重点

- ① 積極的な生徒理解
- ② 全職員による共通理解・共通指導
- ③ 自己指導力を生かせる場面のある授業・活動の構築
- ④ 学級を基盤とした望ましい集団形成
- ⑤ 教育相談の充実

### (3) 具体的な施策

- ① 生徒をあらゆる場面（登校、朝のふれあい、授業、休み時間、給食、係活動、放課後、部活動、「私の一週間」）で観察するとともに、生徒と共に悩み・考え・喜び、生徒の内面の理解に努める。
- ② 小さなことでも報告・連絡・相談しあい、職員が連携して指導、対応する。
  - ・ 迅速な報告・相談・連絡を徹底し、指導体制を充実させ、連携を強化する。
  - ・ 月別重点指導事項、「人間勝平」での具体的指導事項の共通理解と実践。
- ③ 生徒一人ひとりの居場所づくりを推進する。
  - ・ 自己存在感を与えることができる生徒主体の授業を構築する。
  - ・ 生徒会の一員としての所属意識を高めさせる。
- ④ 集団の中での自分のあり方を考えさせ、他とのかかわりを指導する
  - ・ 学級諸問題などの解決を通して、一人の悩みを学級のものとして考えることができる学級作りを推進する。
  - ・ 集団の中での自分のあるべき姿を追求することを意識できるよう支援する。
- ⑤ 生徒の悩みの解消やいじめ、不登校の未然防止、早期発見・対応に努める。
  - ・ 生徒の悩みの情報収集に日頃から努める。
  - ・ 定期的な「心の響き」調査での実態把握と即時対応に努める。
  - ・ スクールカウンセラーと連携し、効果的な活用を推進する。

### (4) 保護者・地域との連携

- ① 生徒指導日より「かつひらの風」を活用して保護者を啓蒙する。
- ② P T Aや三者面談などを通して、積極的に保護者との連携を図る。
- ③ 警察、P T A生活安全部や関係機関などとの連携による健全育成を推進する。